

様式9

「川づくり団体」部門

河川基金助成事業

「かわあそびin五ヶ瀬川2024」

助成番号： 2024 - 6112 - 003

GOKASE川遊び推進協議会

佐 伯 卓 信

2024 年度

様式 6

1. 川づくり団体部門

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6112-003	かわあそび in 五ヶ瀬川 2024	GOKASE 川遊び推進協議会 会長 佐伯卓信
活動の目的		
宮崎県北部を流れる 11 年連続で水質が最も良好な河川に選ばれた五ヶ瀬川の大事さとその魅力を見直し、人々が河川安全や河川環境などへの理解を深めると共に、郷土の川への責任感や愛着の心を醸成し、これまで以上に川と人が、より良い関係性を構築していくことを目的とする。また安全な川遊びを体験することにより川への親しみを増し水難事故の防止にも役立たせたい。		
事業テーマ	河川や流域への理解を深める活動	
助成事業の要旨	【実施内容】	
	<p>事業の PR と啓発を兼ねて 5 月に子供たちに「川の思い出」をテーマにスローガン募集を行い川の大切さと川を大事にする心を育む活動を行いました。スローガン募集には 544 点もの応募がありその中から最優秀、優秀、佳作の入賞作品を選考し表彰いたしました。7 月 28 日に市民に地元の川の素晴らしさを伝え、大切にすることを育み、ふるさとの川として親しんでもらうことを目的とし、かつ安全な川遊びを体験することにより水難事故を無くそうとする目的で「かわあそび in 五ヶ瀬川 2024」を開催しました。案内としては、市内全小学校及び幼稚園、保育園の全児童に約 11000 枚のチラシを配布し WEB による事前申込みとしたところ 644 名の申し込みがあり抽選により 400 名を当選者といたしました。当日は開会式、スローガン入選者表彰の後、「ライフジャケット着用教室」「川遊びのコーナー」「水生生物学びのコーナー」「救急法講習」「災害時対策車展示」などを実施いたしました。</p> <p>また、河川敷の美化作業として 7 月 13 日に草刈り、9 月 9 日実施予定のごみ拾いは天候とスタッフの都合により 9 月 22 日に実施いたしました。</p>	
	【成果】	
	<p>スローガンの募集については、子どもたちに川の思い出を書いてもらうことにより、郷土の川の大事さを再認識してもらえと思っています。</p> <p>ライフジャケット着用を含め安全な川遊びを学ぶことで水難事故の減少に少なからず貢献できていると思います。川がきれいで街中でも川遊びができるということは誇りであり市民にももっと知ってもらえたらと思っています。</p> <p>国土交通省、宮崎県、延岡市も本イベントには非常に協力していただいております、官民一体となつての取り組みになってきており大変うれしく思っています。</p> <p>高校生、大学生ボランティアも人数を制限しなければいけないほど高い関心を持ってくれており、本年も 48 名の申し出があった。次世代への継続性を持たせるためにも高校生には大きな期待を寄せている。</p>	
【今後の展望】		
<p>延岡は水郷の町として川とは大きなかわりを持って発展しており、本事業を進めることで故郷の川のすばらしさを再認識してもらうきっかけになりうと思っています。大人も子供たちに恥じないよう川の環境保全に気を付けて行動してくれることを願っています。</p> <p>ライフジャケットの着用を進めることで水難事故の防止に大いに寄与すると思われ、川に限らず海でもライフジャケットを着用して水遊びをすることを推進し水難事故ゼロを目指したい。</p> <p>昨今の河川災害に鑑み、多くの市民がこの川遊びイベントをとおして川と環境の保全に関心を持ち、河川災害時の対策について学ぶことにより安心・安全な生活を営むことができるようになることを願っています。</p> <p>他団体との連携も必要で協力しながら事業を進めていかなければいけないと思っています。</p>		

※ポイントとなる事項に適宜アンダーラインを引いてください

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2023-6112-007	かわあそび in 五ヶ瀬川 2023	GOKASE 川遊び推進協議会 会長 佐伯卓信

助成事業実施成果の自己評価	<p>〔当初目標の達成度〕 水質保全のための活動と意識については、子どもたちのスローガンの中身やイベントへの参加者の増加などでその意識は高まっていると感じている。 川での安全な遊び方を学び水難事故を減らすことは、これからの市民の活動を注視しなければわからないが、海・川でライフジャケットを着用している家族が多く見受けられるようになった。参加者の多くが延岡の川のきれいさに驚いている声を聴くようになった。高校生のボランティアが毎年多数参加してくれており、次世代への継続が期待できる。 国土交通省、延岡市など行政が本イベントに深く関わってくれていることで、これからの諸工事に本事業の趣旨が反映されると期待している。 河川敷ゴミ拾いについては参加者が少なかったので日程や他団体との協力を検討する。</p> <p>〔活動の創意工夫点〕 本事業の広報では延岡市の協力により市内全小学生と保育園児にチラシを配布できたことが大変大きい。事業の実施実行委員会は必ず行政の方々の出席をいただき意思の疎通を図り計画の実施面で大きな協力を得られた。 高校生のボランティアスタッフ募集については毎年学校の理解と協力が得られており大きな力となっている。本年は参加者全員に思い出になればとボランティア参加証明を発行して謝意を示した。少しでも将来の意識づけになればと思う。 資金調達としては市内企業に広告の協賛依頼をして資金の補填を行っている。当日配布のチラシにカラーで広告を掲載するとともに会社名を記載したバックボードを開会式場に設置して協賛に答えた。</p> <p>〔地域や河川管理者との連携〕 河川管理者の国交省延岡河川国道事務所および延岡市とは、計画の段階から実行委員会のたびに参加していただき協議を行っており、実施計画作成に大変協力していただいた。 草刈り作業にも多くの職員を参加させてくださり、イベント当日も職員が多数参加してくださった。資材についてもそれぞれから多くのものをご提供いただき経費の軽減と準備に大変助けとなった。延岡市民の川を愛する心を理解してくれたものと思っている。 国交省河川国道事務所に置かれてはライフジャケットの準備についても他の事務所から不足分を手配してくれるなど、水難事故防止についても理解を示してくれたものと思っている。当日のメインであるウォータースライダーについては国交省河川国道事務所が排水ポンプ車を活用し設置してくれた。その他、水生生物観察や〇×ゲームなどは国交省ならではのコーナーであった。</p> <p>〔今後の展望〕 延岡市が提唱する「天下一かわまち創ろう会」では当該協議会以外にも多くの団体が川をフィールドとする事業を展開している（例：川周辺のマラソン大会、畳堤の保存、アユやなの推進、川周辺を使った花物語など）が川を直接活用した事業は本事業のみであり大変注目されている。事業の運営についても多種多様な団体が協力していること、高校生のボランティアを活用していること、企業等の協力を仰いで財政基盤を確立していることなど、先駆者としてよい見本となっているものと思われます。 財政的には川をフィールドとする各活動に対し延岡市が一定の助成制度を設けることことが各活動の継続性を推進するものと考えてるので、各団体が協力してこれからの検討事項として進めることが必要と考えます。</p>
---------------	--

1. 事業概要

1.1 設立目的・経緯・概要

宮崎県北部を流れる水質が最も良好な河川に11年連続で選ばれた五ヶ瀬川での川遊びを実施することで、五ヶ瀬川の賑わいをより活性化し人々がかわあそびの楽しさや河川環境などへの理解を深めると共に、郷土の川への責任感や愛着の心を養うことで、これまで以上に川と人がより良い関係性を構築し郷土愛も深めていくことを目的とする。さらに川での安全な遊び方を学ぶことにより、水難事故を無くすことも大きな目的である。延岡市が設立した「天下一五ヶ瀬川かわまち創ろう会」の一環として、過去に実施していた「リバーフェスタのべおか」と「お母さん、お父さんのためのかわあそび村」の二つのイベントを融合させ2018年から開催しています。

1.2 活動の目的

水郷の街「延岡」と言われながらその価値に気づいていない市民も多い。その価値を見直すきっかけを作りたい。子供たちにも「ふるさとの川」の思い出と郷土愛を育ませることを目的としている。

河川美化活動等により川の状況を知ることにより川への愛着、自然保護の大切さを学ぶことを目的としている。水難事故による犠牲者を減らすためライフジャケットの普及と、正しい着用法を学び安全で楽しい川あそびを学ぶことで河川への愛着と環境整備への理解を深めることを目的とする。

2. 事業内容

2.1 開催準備

2.1.1 実行委員会

- 04月08日 第1回実行委員会 基本計画の検討、組織の確認、スローガン募集の検討
- 04月22日 第2回実行委員会 プログラムの検討、後援・広告協賛について検討
- 05月07日 第3回実行委員会 実施内容の検討、チラシ配布計画の検討、スローガン募集計画
- 05月09日 延岡市長、延岡市議会議長を訪問、協力の要請と開会式参加のお願いをする
- 05月20日 第4回実行委員会 実施計画の策定、チラシ案の検討、スタッフの確保を検討
- 05月28日 国交省延岡河川国道事務所長を訪問、協力の要請を行う
- 05月31日 スローガン募集の締切、広告協賛会社の確定
- 06月03日 第5回実行委員会 チラシ最終案の決定、チラシ配布計画、スローガン審査
高校生ボランティアの募集計画
- 06月17日 第6回実行委員会 実施計画の検討、チラシの配布計画、スタッフ確認
- 06月23日 チラシの各施設別振り分け
- 06月24日 チラシを全小学生、保育園児に配布
- 07月01日 第7回実行委員会 実施計画最終案検討、資材の確認、しおり案検討
高校ボランティアの最終確認、スタッフの最終確認
- 07月13日 会場付近河川敷の草刈作業
- 07月16日 第8回実行委員会 プログラム・資材の確認、しおり最終決定
- 07月22日 第9回実行委員会 実施準備最終確認

(2)協賛会社一覧

株式会社神田自動車、損害保険ジャパン株式会社延岡支社、(株)太陽保険サービス、株式会社榊元ホールディングス・榊元グループ、太陽工業株式会社、社会福祉法人ゆりかご福祉会、学校法人ゆりかご未来学園、宮崎第一交通株式会社 延岡営業所、延岡地区建設業協会、吉玉精鍍株式会社。(株)緑清園、旭化成株式会社、第一環境管理株式会社、向陽プラントサービス株式会社、有限会社寺田建設、栄建ホーム、旭児童館・旭児童クラブ、幼保連携型認定こども園山下保育所・山下児童館、社会福祉法人望洋会なかしま保育園・なかしま児童クラブ、社会福祉法人つくしんぼ福祉会つくしんぼ児童クラブ、ALFEE、株式会社第一テクノコンサルタンツ、株式会社有田生コンクリート、上田工業株式会社、岡田工業株式会社、延岡向洋ライオンズクラブ、株式会社建設環境研究所 当日には協賛会社名を記載したバックボードを作成しセレモニー会場の後ろに配置した。



写真2. 2バックボード

2. 2 スローガン募集

2. 2. 1 募集要項

本イベントの前段として児童クラブ・児童館の子供たちを対象とした「川の思い出」をテーマにスローガン募集を行った。

2. 2. 2 応募作品と入選作品の展示

544点の応募の中から最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作29点を選出した。

最優秀賞、優秀賞につきましては本イベント当日開会式にて表彰した。7月2日から1週間、応募作品、入選作品をイオン延岡店にて展示を行った。

最優秀賞 (1点)

土々呂小ゆりかご児童クラブ		
川からのプレゼント 思い出作りに さあいこう	土々呂 小学校	3 年

令和6年4月吉日

各児童館長 様
各児童クラブ 代表 様

GOKASEかわあそび推進協議会
会長 佐伯 卓信

かわあそび in 五ヶ瀬川2024 スローガン募集について
各児童館・児童クラブにおかれましては、時々ますますご清浄のこととお慶び申し上げます。日頃よりGOKASE川遊び推進協議会の活動にご協力ご支援を賜り、感謝申し上げます。
さて、本年度も子ども達に延喜の川に親しみ、学び、遊ぶことで「水郷延喜」の川を守っていくとすることを旨とし、一層に参加する保護者様たちにも川遊びの魅力と安全に遊ぶためのルールを身に付けて貰うことを目的とした「かわあそび in 五ヶ瀬川2024」を今年も夏に開催いたします。
例年、児童館・児童クラブの子ども達にかわあそび in 五ヶ瀬川のスローガンを考えて頂いておりますが、今年も同じく募集したいと思いますのでご協力をお願いします。尚、今年も子ども達が考えたスローガンを一人につき一つご提出していただくと、その中から実行委員会内で選考して今年のスローガンを決定したいと思います。
応募したスローガンは「かわあそび in 五ヶ瀬川 2024」の案内チラシに掲載するとともにご応募いただいたスローガンは会場内やイオン延喜館内で全て掲載いたします。
掲載するいずれの際にもスローガンの児童の姓名前名、学校名（児童館名）と学年（年齢）が明記されて掲載されますのであらかじめご了承ください。
また、スローガンの入賞した子ども達は当日の閉会式で表彰いたしますので、かわあそび in 五ヶ瀬川にご参加して頂きますよう、後日ご案内いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

記

- 募集内容 かわあそび in 五ヶ瀬川2024スローガン
空別紙にご記入ください。
- 募集締切日 令和6年6月末日まで
- 提出先 リバーフェス五ヶ瀬川へメールで提出（例年のExcel様式に入力したものを）
メールアドレス info@gokasegawa.net
- 問い合わせ先 今年度担当：南小児童クラブ TEL 080-8584-2195
伊形小児童クラブ TEL 080-2751-1590

かわあそび in 五ヶ瀬川2024は、公益財団法人河川
財団の河川基金の助成を受けています。

 河川基金

写真2.3 スローガン募集

かわあそび in 五ヶ瀬川2024 スローガン入選作品一覧

児童館名 (1名)	スローガン	学年
まき小児童クラブ	川からのプレゼント 思い出作りに さあ！	3年
佳作賞 (2名)		
川遊び ルールを守って 楽しませよう	川風 小学校 4年	
つくしんぼ児童クラブ	つくしんぼの川遊び	1年
富原児童クラブ	富原川で遊ぶ楽しさ	4年
佳作 (2名)		
まき小児童クラブ	川遊びの楽しさ	5年
川遊びの楽しさ	富原 小学校 5年	
佳作 (2名)		
SXXS	くまの川遊び	2年
まき小児童クラブ	川遊びの楽しさ	4年
山下児童館		
山下児童館	川遊びの楽しさ	6年
まき小児童クラブ		
川遊びの楽しさ	北川 小学校 1年	
川遊びの楽しさ	北川 小学校 1年	
南小児童館		
川遊びの楽しさ	南 小学校 5年	
また児童クラブ		
川遊びの楽しさ	北川 小学校 2年	
川遊びの楽しさ	北川 小学校 3年	
川遊びの楽しさ	北川 小学校 3年	
川遊びの楽しさ	北川 小学校 3年	
川遊びの楽しさ	北川 小学校 5年	
南小児童クラブ		
川遊びの楽しさ	南 小学校 4年	
川遊びの楽しさ	南 小学校 3年	
ひかり児童館		
川遊びの楽しさ	三川 小学校 1年	
川遊びの楽しさ	三川 小学校 3年	
川遊びの楽しさ	三川 小学校 4年	
つくしんぼ児童クラブ		
川遊びの楽しさ	伊形 小学校 2年	
南小児童クラブ		
川遊びの楽しさ	南 小学校 4年	
富原児童クラブ		
川遊びの楽しさ	富原 小学校 1年	
川遊びの楽しさ	富原 小学校 2年	
川遊びの楽しさ	富原 小学校 3年	
なかし児童館		
川遊びの楽しさ	延喜 小学校 1年	
川遊びの楽しさ	延喜 小学校 4年	
川遊びの楽しさ	延喜 小学校 5年	

写真2.4 入選作品一



写真2.5 スローガン作品イオン展示



写真2.6 スローガン作品イオン展示

2.2.3 入選作品の表彰

入選作品について佳作は各児童クラブにて伝達、表彰してもらった。最優秀賞、優秀賞については開会式の場にて表彰した。佳作については各児童クラブ、児童館にて伝達表彰してもらった。



写真2.7 スローガン最優秀賞



写真2.8 スローガン入選者表彰

2.3 「かわあそびin五ヶ瀬川2024」の開催

2024年7月28日に「かわあそびin五ヶ瀬川2024」を開催した。

2.3.1 参加者募集

(1) チラシの配布

市内小学校、幼稚園、保育園の全児童に案内のチラシ11000枚を配布した。

配布には延岡市の協力で市役所の文書箱を活用させてもらった。(郵送料の軽減になった)



写真2.9 案内チラシ 表



写真2.10 案内チラシ 裏

(2) 参加申し込み

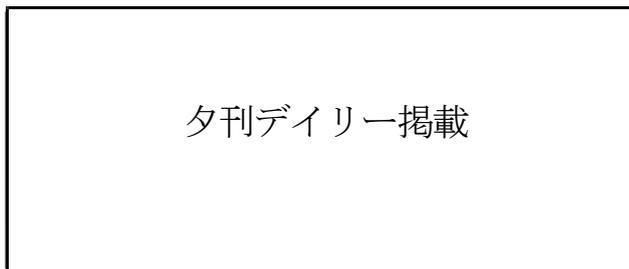
申込は2024年7月7日までのWEB参加申し込みとし抽選により400名を当選者とした。

募集定員400名に対し194世帯644名の申し込みがあった。

抽選の結果、126世帯422名を当選者とした。(キャンセルによる減を見込む)

(3) 広告、広報

地元新聞に6月26日に広告を掲載するとともに延岡市広報7月号にも案内を掲載した。



夕刊デイリー掲載

写真2.11 新聞広告

2.3.3 会場設営

7月29日 イベント実施の方針に基づき会場設営を行う。



写真2. 15 会場全景図



写真2. 16 横断幕設置



写真2. 17 入場門設置



写真2. 18 更衣室設置



写真2. 19 簡易トイレ設置



写真2. 20 交通誘導員配置



写真2. 21 緊急車両配置

(2) ライフジャケットの装着訓練

「車ではシートベルト、川ではライフジャケット」を標語として参加者及びスタッフ全員にライフジャケットを川遊びでは必ず装着することを学んでもらいました。水難死亡事故ゼロを目指しています。



写真2. 26 ライフジャケット着用教



写真2. 27 ライフジャケット着用注意

(3) 川プール

親子で楽しく川で遊ぶことにより川の楽しさを感じてもらうとともに川での安全な遊び方も学んでもらいました。五ヶ瀬川は11年連続日本できれいな川として認定されています。美しい川のある街を誇りとして郷土延岡をもっと愛してもらいたいものです。



写真2. 28 川プールで遊ぶ参加者



写真2. 29 川プールで遊ぶ参加者

(4) ウォータースライダー

一番の人気アトラクションです。架設には国土交通省延岡河川国道事務所の多大なご協力をいただきました。多くの参加者が何度も野外のスライダーを体験していました。



写真2. 30 ウォータースライダーで遊ぶ参加



写真2. 31 スタッフが安全確認サポート

(5) ウォーターチューブ

こちらにも人気のアトラクションで、日ごろあまり体験できないアトラクションを多くの参加者が楽しんでいました。
このコーナーのスタッフとして高校生が大活躍してくれました。



写真2. 30 ウォーターチューブで遊ぶ参加者



写真2. 31 高校生がサポート

(6) 水生生物観察

五ヶ瀬川に住む生き物を採取してその名前などを知ることにより川が生きていることを学んでもらいました。
採取した生き物は国土交通省のスタッフたちが丁寧に説明してくれました



写真2. 32 水生生物観察



写真2. 33 国交省職員が説

(7) 幼児コーナー

川の深いところでは遊べない幼児のために小さな小川を作り遊んでもらいました。



写真2. 34 幼児プールで遊ぶ子供たち



写真2. 35 幼児プールで遊ぶ子供たち

(8)救急法・AED の講習

延岡市消防本部から署員2名を派遣してもらい、万が一の時のために心肺蘇生法の実地並びにAEDの使い方について講習を行ってもらいました。保護者の方に「万が一の時に救急車が来るまで何もせずに黙って見ていますか。何かできることがあるはずですよ」と問いかけをして受講を呼び掛けました。呼びかけに応じ多くの家族が熱心に受講してくれました。



写真2. 36 救急法を学ぶ参加者



写真2. 37 救急法を講習する消防職員

(8)川に関する〇×クイズ

国土交通省延岡河川国道事務所による川に関する〇×クイズを実施しましたが、多くの子どもさんが参加し挑戦をしていました。勝者にはペーパークラフトが渡され子どもたちは大喜びでした。



写真2. 38 〇×クイズに挑戦する参加者



写真2. 39 正解者にはペーパークラフトを渡す

(9)災害対策車の展示

河川災害などの時に活躍する国土交通省の照明車、ポンプ車を会場に展示するとともにパネルも展示し災害への備えの大事さを訴えました。



写真2. 40 排水ポンプ車の展示



写真2. 41 照明車の展示

2. 4. 河川美化作業の実施

2. 4. 1 河川敷草刈り作業

河川敷は市民の憩いの場として広く利用されているが、ともすると草が生い茂り活動の妨げとなることもある。河川敷を草刈しきれいな環境にすることで市民の憩いの機会が増え、行政においても草刈りなどの環境整備に力を入れてくれるのではないかと期待している。

7月13日（土）に「かわあそび in 五ヶ瀬川」会場となる河川敷一帯を草刈りした。

草刈作業実施計画書	
目的	7月28日(日)に開催する「かわあそび in 五ヶ瀬川」事業実施のため、会場となる松山町五ヶ瀬川河川敷の草刈作業を行うもの。当日雨天の場合8月4日(日)に延期 ※「かわあそび in 五ヶ瀬川」事業については別紙資料参照
主催	GOKASE 川遊び推進協議会 (会長 佐伯卓信 延岡市富美山町 528 - 15)
協力	国土交通省延岡河川国道事務所 延岡市 宮崎県
日程	7月13日(土曜) 雨天決行 予備日7月20日 時間 午前7時から10時まで
場所	松山町五ヶ瀬川河川敷(業務スーパー前) 別紙会場図参照
参加	延28名 別紙名簿
準備	草刈機 5台 熊手・ほうき バッカー車(第1環境1台) 軍手等(参加者各自負担) 救急箱※応急手当用(実行委員会) 飲料水※お茶(実行委員会) 燃料(混合油)
注意	実行委員会の指示に従うこと。 草刈隊と草集め隊が重ならないよう注意すること。 参加者は必ず長袖・軍手・長靴を使用し、安全に注意すること。 事故があった場合は、直ちに病院へ搬送または救急車を要請すること。
諸連絡	かわあそび in 五ヶ瀬川実行委員会事務局 延岡市桜ヶ丘1-10-7 興梧次郎 電話 0982-21-6291

写真2. 43 草刈り実施計画



写真2. 44 草刈り作業実施



写真2. 45 草刈り作業実施

2. 4. 2 河川美化作業(ゴミ拾い)

当初9月9日に実施を計画していたが連日の猛暑日によりスタッフの健康を考慮し9月22日に延期して実施することとした。当日は雨天のため及びスタッフの都合により参加者は少なかった。実施日について他団体との連携した日程を選んだ方が良くかもしれない。(例:ボランティア協会との協働作業)



写真2. 46 ゴミ拾い作業実



写真2. 47 ゴミ拾い作業実

3. スタッフ・運営組織

3. 1 構成団体

本事業の運営スタッフとして、リバーフェスタのべおかの会員、かわあそび村の会員、リバーパル五ヶ瀬川、ボーイスカウト、ガールスカウト、保育所関係者、児童館クラブ関係者等が実施計画の作成・運営に携わった。(総勢32名)

3. 2 行政の協力

国土交通省延岡河川国道事務所(18名)、延岡市(24名)、宮崎県(4名)が運営に協力してくれた。延岡河川国道事務所、延岡市は企画立案の段階から毎回実行委員会に出席をいただきアドバイスをいただいた。



写真3. 1 当日協力いただいた国交省の職員

3. 3 河川管理者との調整

河川管理者延岡河川国道事務所については、5月に事務所長に実施について協力をお願いに上がり理解をいただいた。

その他、ウォーターライダー、幼児プールの施工などについては延岡河川国道事務所にも多大な協力により実現できた。

3. 4 高校生ボランティア

次世代に川の魅力と川遊びの楽しさを伝えるとともに、川プールなどの運営の手助けとして市内県立高校に高校生ボランティアの募集を行った。

3. 4. 1 ボランティア募集の案内

かわあそび in 五ヶ瀬川は公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けています

かわあそび in 五ヶ瀬川 2024
高校生サポートスタッフ
ボランティア 募集!

開催日程：令和6年7月28日(日)
雨天の場合：8月4日に(日)に延期
集合場所：延岡市松山町松山橋下流河川敷
集合時間：7時30分 解散予定：15時
主催団体名：GOKASE川遊び推進協議会

ボランティアの活動内容

- 会場設置、撤収作業の補助
- 川の中での活動の監視（安全対策）
- 川での安全な活動方法を学ぶ
※各ブースに配属、補助員としてサポートして頂きます。
詳しい内容は当日現場にてご説明いたします。

用意するもの

- 川に入れる服装を準備（着替えを準備）
- 濡れても良い靴を準備（サンダル、スリッパ、クロックスは不可）
- 軍手、飲料水は原則各自準備のこと（飲料水の補充できます）
- マスク着用は各自判断とする
- 健康保険証を持参、または緊急時の連絡者等が持参できるようにすること

お問合わせ
団体名：GOKASE川遊び推進協議会（会長 佐伯伸信）
ボランティア受付：事務局 興紀次郎
TEL:0982-21-6291 携帯090-7452-5780 FAX:0982-20-7030

写真3. 2 高校生ボランティア募集 表

「かわあそび in 五ヶ瀬川」サポートスタッフボランティアの募集について

「ふるさと川再発見」をテーマに、市民に地元川の楽しさを伝え、大切にすることを呼びかけ、ふるさと川として誇りを持ってもらえること、また、「親子で安全な川遊び」もキーワードに、保護者にも安全な川遊びの魅力と、ルールを身につけてもらう、「親子で楽しむ」川遊び、川の楽しさを多く世代が享受することを目的として、五ヶ瀬川を元川とした地域の活性化、地域交流の促進、五ヶ瀬川の安全利用等、1地区を1チームに選定し、かわあそびの活動を行います。

この取り組みの一環として、親子を対象として1地区の楽しさを伝え安全な遊びかたを普及啓発するため、今年に引き続き「かわあそび in 五ヶ瀬川」を実施いたしますが、参加する400名の親子が安全に川遊びが体験できるようにサポートしていただける高校生スタッフさんを募集しています。

＜開催日程＞
令和6年7月28日(日) 9時～14時 雨天の場合8月4日(日)に延期
開催の有無については前日にHPにて発表するので各人で確認してください
当日の急な雨天等の中止のお知らせは朝の6時30分頃にホームページに掲載します

＜開催場所(集合場所)＞ 7時30分集合
延岡市松山橋下流河川敷(駐車場あり)

かわあそびHP

＜ボランティアの活動内容＞
・会場設置、撤収作業の補助
・川の中での活動の監視(安全対策)※自分たちも川での安全確保を学びます。
・ライフジャケットの着用法を子供たちの指導のサポートを行います。
・その他、各ブースに配属、補助員としてサポートして頂きます。詳しい内容は当日現場にてご説明いたします。

＜その他＞
・参加費は無料です。(保険に加入します(団体保険))

＜参加人員＞
・各学校10名以上(特別不同)応募者多数、不足の場合は希望する場合があります。

ボランティア担当者 様
「お問合せ」申し込み先
GOKASE川遊び推進協議会 事務局 延岡市桜ヶ丘1-10-7 興紀次郎
TEL:0982-21-6291 FAX:0982-20-7030 携帯090-7452-5780
メール:miyakitakubs@yahoo.co.jp
別紙申込書をお申し込みください。(締め切りは7月1日)
※申込フォーマットが紛失な場合はメールしてください。

写真3. 2 高校生ボランティア募集 裏

3. 4. 2 ボランティア応募者

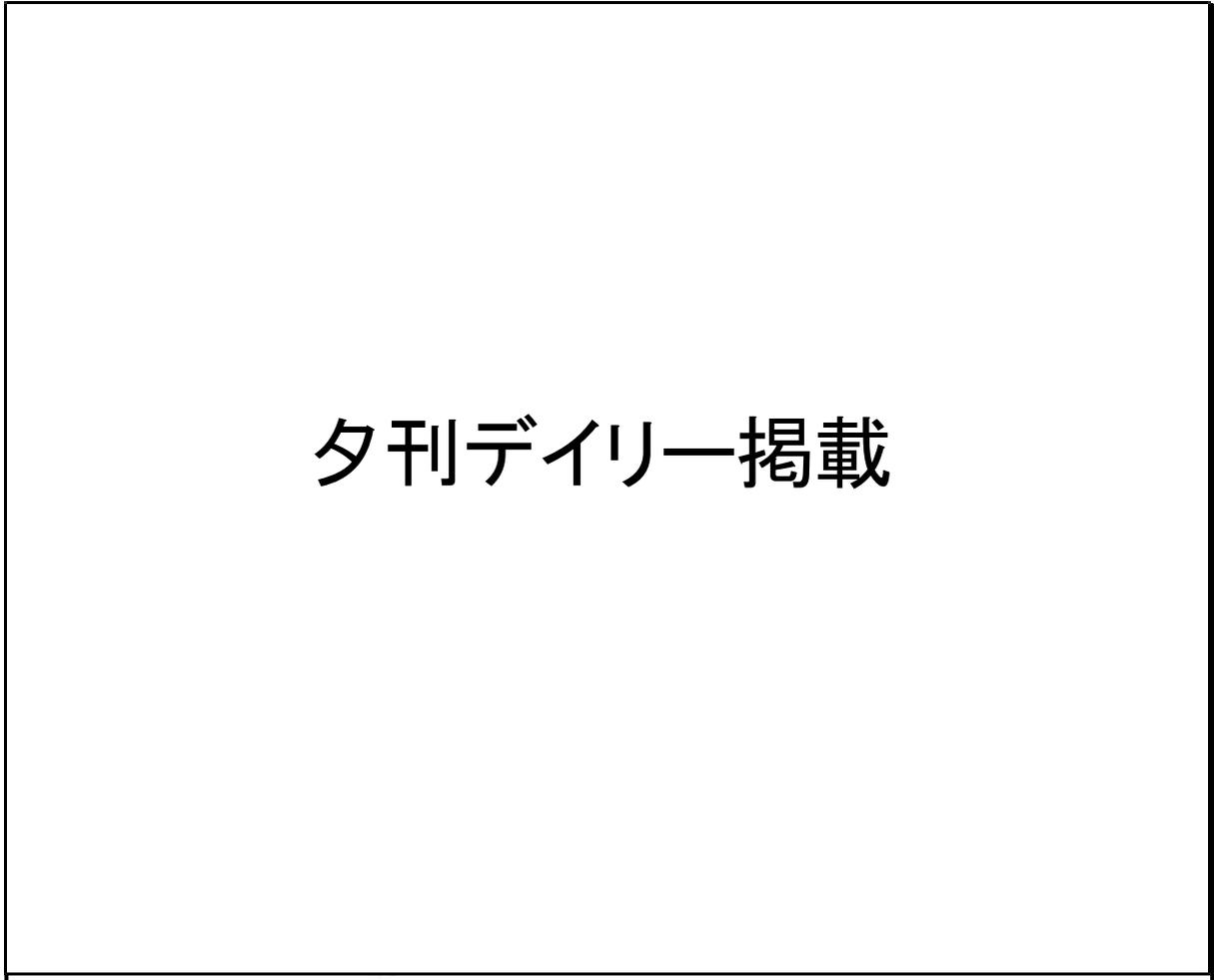
募集の結果、県立延岡高校9名、県立延岡商業高校7名、県立延岡星雲高校8名、県立延岡工業高校15名、計39名の申し込みがあった。



写真3. 3 高校生ボランティア参加者

4. 新聞記事

4.1 8月2日付 イベントの実施についての記事が地元新聞に掲載された



夕刊デイリー掲載

写真4.1 新聞記事

5. 活動の成果

5.1 スローガン募集

スローガン募集に対する応募は年々増えてきており、スローガンの内容も川に対する思いと自分たちの街の川の大事さそして環境を守ることの大事さを伝えるものが多くなっている。また、家族と川遊びを楽しんだ思い出を伝えるものも多く、市民全体が川と深くかかわっていることが感じられる。

川とともに共生する意識づけが少しずつ浸透していると感じられ一定の成果を得られていると思う。

5.2 河川敷の草刈りとゴミ拾い

河川敷を草刈りきれいな環境にすることで市民の憩いの場を整備することの大事さをアピールすることができた。ゴミ拾いは我々だけでなく他の団体もそれぞれの日程で実施している。市民にもっと河川環境を守っていくことをアピールするためにはまとまって実施することも検討しなければいけない。

5.3 「かわあそびin五ヶ瀬川」の開催

市街地の真ん中で川遊びができることを長らく示してきたが、延岡が水郷の街であることを市民の方々にもわかってもらえて来たのではないかと思います。

川で安全にかつ楽しく遊ぶことを学んでいただくことで川に親しみを持ち、かつ水難事故防止に少しは約二立っているかと思う。最近では海でも川でもライフジャケットを着用している方が増えているようである。

6. 今後の展望

6.1 ふるさとの川再発見

川に囲まれ川の恵みを受けている故郷延岡において、市民が川とのかかわりを体験できる機会を四季を通して行うことができればよいと考えている。

川は延岡の宝でありその価値を見つめなおすことで郷土愛も育まれるものと思い、あわせて川の環境を保全する活動の推進にも役立つと考える。

6.2 次世代への期待

郷土愛や環境保全についての教育は短期間で育まれるものではなく長い時間と世代間の継続性が必要となってくる。大人から子供へ引き継いでいくには子供たちに興味と楽しさを味わえる機会を作ることが必要で、子供を対象とした当該事業を今後も引き続きおこなっていきたい。

スタッフとして高校生、大学生がボランティアで毎年参加してくれるようになり、次世代へのつながりが期待できるものと考えている。

6.3 財政的基盤の確保

長期的、多角的に事業を展開するには財政の確保を図らなければならない。市民の応援だけでなく行政の定期的な資金援助を要望していきたいと考えている。

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6112-003	かわあそび in 五ヶ瀬川 2024	GOKASE川遊び推進協議会 会長 佐伯卓信
主な実施箇所		宮崎県延岡市松山町1221番地 五ヶ瀬川河川敷



遠景

近景



河川基金ロゴ等表示状況写真